

平成26年度 第1回鶴岡市介護保険運営協議会並びに  
第1回鶴岡市地域包括支援センター運営協議会議事録（概要）

- 日 時 平成26年10月22日（水） 午後1時～午後2時40分
- 会 場 出羽庄内国際村 国際村ホール
- 出席委員  
三原一郎（会長）、小林達夫（副会長）、日向常浩、上野利明、阿部真裕、阿部和廣、菅原淳、佐野治、吉田誠、伊藤貫正、奥山正智、阿部繁子、小林正博、佐藤佳子
- 市側出席委員  
長寿介護課長 佐藤正規、同課主幹兼地域包括支援センター所長 菅原繁、羽黒庁舎市民福祉課長 国井儀昭、櫛引庁舎市民福祉課長 山口弘男、朝日庁舎市民福祉課長 渡辺健、温海庁舎市民福祉課長 石塚みさ、長寿介護課長補佐 佐藤正直、地域包括支援センター所長補佐 叶野真弓、長寿介護課主査 富樫博、五十嵐美恵子、鈴木真由美、同課専門員 伊藤邦子、上林一志、帯谷友洋
- 公開・非公開の別 公 開
- 傍聴者の人数 4 人
- 次 第
  1. 開 会
  2. 挨 拶
  3. 委員自己紹介
  4. 会長、副会長の選出
  5. 報告協議等  
鶴岡市地域包括支援センター運営協議会
    - （1）平成25年度地域包括支援センターの運営状況と平成26年度地域包括支援センター運営方針等について
    - （2）地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の骨子案について
    - （3）地域包括支援センター担当区域の見直しについて鶴岡市介護保険運営協議会
    - （1）介護保険の運営状況について
  6. そ の 他
  7. 閉 会

○協議内容

1. 開 会 (午後1時)
2. 挨拶 長寿介護課長
3. 報告協議等 (議長：三原一郎会長)

鶴岡市地域包括支援センター運営協議会

- (1) 平成25年度地域包括支援センターの運営状況と平成26年度地域包括支援センター運営方針等について

資料1 平成25年度地域包括支援センター運営状況について

資料2 平成25年度地域包括支援センター業務評価について

資料3 平成26年度地域包括支援センター運営方針及び活動計画について

(説明：叶野真弓地域包括支援センター所長補佐)

◆質問意見等

[委員] 年々相談件数が増えて、今の職員配置で将来的にもやっていけるのか。

今の人数でやっていくのか、あるいは人数を増やしていくことがあるのか。

[事務局] 国の基準が定められており、業務量が増えているのは承知しているが、従うべき基準があることから、それに沿ってお願いしていきたいと考えている。

[委員] 基準があるということだが、他に業務を減らすとか、内容を整理していかないといずれ回らなくなると思われるので検討を願いたい。

[委員] 資料1の高齢者虐待の中で、ケアマネジャーからの通報が一番多いとの話しであった。ヘルパーやデイサービスの職員の方が高齢者と接していると思うが、なぜケアマネジャーから通報が一番多いかという、ヘルパーが、高齢者が息子から叩かれていると感じると、まずケアマネジャーにお任せして、やむを得ずケアマネジャーが通報するという図式になっているのではないかと思われる。もっと虐待を受けている高齢者が直接通報することができるようにしないと、全部ケアマネジャーが通報することになってしまうことを心配している。その辺どうなのでしょう。

[事務局] 虐待者が高齢者自身の息子や息子の嫁あるいは配偶者などであり、身内の失態を相談することについて心理的な難しさもある。また、虐待の事実を確認しても、虐待されていた高齢者自身がなかなかその事実を認めない場合も多いのが現状である。そうしたこともあり、結果的にサービス提供事業所の方々が不自然な傷、行動を発見し、ケアマネジャーに相談されている場合が多くなっている。高齢者自身が通報、相談するのはかなりの難しさがある。

[委員] 通報先はどこになるのか。地域包括支援センターになるのか市になるのか。

[事務局] 市でも地域包括支援センターどちらでもよいが、担当エリアの地域包括支援センターへ通報するよう周知している。

[委員] 歯科分野でもケアマネジャーの動きにポイントをおいている。包括支援センターのケアマネジャーと現場に近いケアマネジャーとどうも組織がはっきりしない。多職種連携システムを作ろうとしているとき、事情がわからない方から直接バンバンやられると混乱が出てくるだろう。お互いに協議の仕方をうまく連絡をとり統一を図っ

ていくことが、将来の鶴岡にとってよいと思うが、ケアマネジャーの連絡先も色々あり、ケアマネジャーがやっていると言うが、どれ位やっているか教えてほしい。

[事務局] 介護保険制度におきましては要支援 1・2 と要介護 1～5 の認定を受ける方がいる。要支援の方は包括支援センター、要介護の方は居宅介護支援事業所がマネジメントすることになっている。アセスメントの結果、口腔ケアが重要となればプランに盛り込み支援させていただくというシステム・仕組みは同様である。その連携は鶴岡市では指定介護予防支援事業所と居宅介護支援事業所は同じ居宅支援事業所部会ということで一体化し、研修なり、同じ様式を使用し、できるだけ医師に混乱をきたさないようルール作りをしていきたいということで部会役員、包括担当で協議しながら、医師会の「ほたる」からもご助言をいただきながら一緒に取り組んでいる。具体的に不都合な点があれば教えていただき改善したいと考えている。

[委員] 現状では統一が欠けているに感じるが、包括支援センターで一本化しているということか。

[事務局] 居宅支援事業所部会の事務局を包括支援センターが行っているので、何か問題があれば一緒に検討させていただく仕組みになっている。

[委員] 介護保険計画を作成中であるが、地域包括支援センターの何か足枷になっていることか、こういうものがあると支援になるというような見直しの希望などあるのか。

[事務局] 見直しの希望と言われると観点がずれると思うが、これから力を入れて行かなければならないという言葉に置き換えると、委員からご指摘があったとおり、包括的 4 事業に加え、多職種連携・地域との連携というものが、これからさらに求められると考えている。

[委員] 財政的裏付けがないと持続性がなくなる。地域包括支援センターの将来的見通しがどうなのか。鶴岡の地域包括支援センターにも将来的に不安が少し見える。大きな概念の中で隠れてしまう傾向がみられる。良いものでも持続性があり、現実的に大きな変化をあたえずにやれるようにしてほしい。

[委員] 特にこれから認知症が増える。今の地域包括支援センターがどこまでやられるのか疑問をもっている。それに代わる組織が必要なのか、あるいはどうするのか。現在はほんの一部の人しか対象にしていらないが、本気でやると対象が、ものすごく多い数になる。その辺をどう考えているのか検討よろしくお願ひしたい。

[委員] 最近マスコミなどでも食べるということのすばらしさが重視されている。資料 4-6 のケアプラン検証事業に歯科が入っていない。しかし、栄養士が突き詰めてやっていると歯科が入ってこざるをえない。先々を考えると単に栄養を与えるということではなく、食べる喜びを考えた時に専門職に歯科を入れ活用してもらいたい。

#### 資料 4 地域ケア会議の推進について

(説明：叶野真弓地域包括支援センター所長補佐)

#### ◆質問意見等

[委員]：地域包括ケアシステムの個別のケースについて町内会レベルだけでなく、もう少

し高いレベルで、より件数を増やして、地域全体のケアマネのレベルを上げていくことについてはどう考えているか。

[事務局] 個別会議のあり方は、地域ケア会議については生活圏内での困難事例を扱ったものと、県などで想定するケアプラン検証的なものの両輪からなる。現段階では私達の力不足もありケアプラン検証的なものには踏み込んでいけないところであるが、ケアプラン検証については今後、充実させていかなければならないと考えている。

[委員] 地域ケア会議の主催者は市になるのか。

[事務局] 個別会議は各包括支援センターになる。

[委員] 地域ケア会議といった場合、日本には世界に誇る、公民館活動があったわけだが、どのように組み込まれているか。

[事務局] 担当エリアで町内会長へヒアリングを行っているが、地域での見守りとか、災害時での支援体制とか、町内会単位で行っているという話を聞いてきた。地域ケア会議になると現時点では困難・特異な事例が多く、個人情報の保護ということもあり、守秘義務を守りながら地域で支援を続けていくことが検討課題である。町内会の役員、民生委員などの力を借りながら一緒に現在取り組んでいる。

[委員] 町内会で今後も見守りを続けていく上で、急に具合が悪くなってから人間関係を作っていくわけにはいかないので、普段からの延長線上である。しっかりした責任がある仕事なので担当部署を作ってもらおうとか、その辺に活路があると思う。ご検討をお願いしたい。

[委員] 地域のつながりは、田舎は比較的強いが、市街地になると弱いという地域性が出て、やはり、地域ごとに考えていく必要がある。地域包括支援センターには生活圏域のなかで、人と人の繋がりをうまく活用しながら完結する方法を考えていただきたい。

[委員]: 地域包括ケアシステムの全体像のなかで、国の研究会では高齢者に限らないとハッキリ言っている。また地域支援事業の介護給付が移行してくる。生活支援コーディネーターの講習会の際に訳のわからない紹介をされた。地域包括ケアシステムの中に、従来、社会福祉協議会が主導して行ってきたようなことに、多様な運営主体が入ってくる。地域包括支援センター、地域ケア会議、生活支援コーディネーターはどのように関わるのか。地域のあり方について国は本気になっていると思う。市町村を中心に積極的に地域に入って行く包括ケアシステムを構築するために、地域への支援のあり方をどのように考えるのかお聞きしたい。

[事務局] 地域への支援のあり方については、包括支援センター、行政が一方的に進めるのではなく、互助という概念からも地域それぞれの実情にあったものを、地域の中から取り組んでもらえるように働きかけ・支援を行っていくことが望ましいと思われる。生活支援コーディネーターについては、まだ事業として検討不足のためこれからの対応になる。

[委員] 生活支援コーディネーターについては専門性が必要なため、詳しい社協から主導的にやってもらう必要があると思う。

[委員] 地域包括ケアシステム自体、街を変えていかないとまずいよねという話しであって、高齢者だけでなく、障がい者なども含めノーマライゼーションというか、そうい

う人達も一緒に生活できるような街をつくっていかうというターニングポイントであって、その中核になる地域包括支援センターの役割も大きい。

資料5 平成26年度指定介護予防支援ケアマネジメント業務委託について  
(説明：叶野真弓地域包括支援センター所長補佐)

◆質問意見等

とくになし

(2) 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の骨子案について

資料6 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の骨子案について

(説明：菅原繁地域包括センター所長)

(3) 地域包括支援センター担当区域の見直しについて

資料7 地域包括支援センター担当区域の見直しについて  
介護予防支援に関する基準の条例制定について

(説明：菅原繁地域包括センター所長)

◆質問意見等

[委員] 直営の包括を廃止ということだが、第5期の在宅介護支援センターの施設長会議でもお話ししましたが、廃止ということで色々話がでていました。任務が増大していると思うが、包括直営の事業所の機能はどうなるのか、廃止ということでその後はどのような状態に、あるいは廃止した後の拠点はどうなるのか、どういう機能がどこに移るのかまず聞きたい。

[事務局] 統括機能としてのこれまで同様の体制はとっていきたいと考えているが、現段階では決定しているものではない。

[委員] この包括支援というのは市町村が行う業務であり、現場に丸投げのような状態になると困る。先般開催されました県の研修会の資料の1ページ目に包括支援センターの機能強化があり、市町村は運営方針を明確にし、業務の委託に際し具体的に示す、また直営等基幹的役割を担うセンターや機能強化型センターを位置づけるなどセンター間の役割分担や連携を強化し、効率的・効果的運営を目指すとある。さきほども出ておりましたが生活支援コーディネーターをこれは県の見解からすると、包括にやったら大変だぞという話で、先生方からもそのようなご意見をいただいたと存じます。直営が後退するということは、本気度からするとかなり後退して、後は現場でやれということなのか、配置基準により職員の配置が示されているが、委託を受けている法人はそれ以上に配置し、職員の業務負担の軽減を図っている。配置はいいが、国の財政的なものはないのか。委託費としていただいているが、厚生労働省で委託費について示しているものがあると思うが、その辺はどの位なのか財政的な部分も示していただきたい。うちは2名配置だが1名多く配置している。25年度決算では400万円の繰り入れをしている。26年度予算では500万円位の繰り入れをしなければ運営

できない。国の示す地域包括ケアシステムを構築していくが包括が中核になり、誰もが今の業務より増えていくと思っているが、直営をなくしてどうするのか、私は直営を残してますます強化すべきと思うが、その辺はどうか。

【事務局】 直営包括廃止に伴う影響については、基本的に特定のエリアを持たず、統括機能は長寿介護課に位置づける。従いまして困難事例や権利擁護につきましても、従来どおり長寿介護課にご相談いただくことになる。配置基準については、これは最低限、国の示している基準であり、これは最低限確保していく。今後ますます包括の重要性は増していくので担当課としては適切な人員配置に努めていく。委託料については今年も3%上げさせていただいたが、今後もどのような手法が可能か内部で検討していきたい。

#### 鶴岡市介護保険運営協議会

##### (1) 介護保険の運営状況について

(説明：帯谷友洋 長寿介護課専門員)

##### ◆質問意見等

なし

4. その他 なし

5. 閉会 (午後2時40分) (佐藤正直長寿介護課長補佐)